学校番号	TO11O

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高校社会と情報　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（パソコンやスマートフォンなど）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習、プレゼンテーションソフトを使った発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・情報技術の基礎・基本的な技能を身に付け、資格を取得しましょう。

2　学習の到達目標

・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて学ぶとともに、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集・処理・表現を行うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用しようとする態度	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現しようとする力	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・実習作品 ・課題作品 ・発表 ・実技テストの結果	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・課題作品 ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報社会	■情報や情報社会の意味を理解し、その変化について学ぶ ■インターネットの特質と個人の責任、心構えなどについて学ぶ	○	○	 ○	○ ○	a:携帯電話のマナーについて感心を持ち、インターネットでのコミュニケーションの心構えについて関心を持っているか b:情報化の進展が社会を発展・充実させてきたことや、それに伴って生じてきた様々な課題とその解決方法について考えることができるか c:電子メール、Web ページ作成などのインターネット上のコミュニケーションで適切に対応できるか d:インターネットの利点や問題点、マナーやモラルについて理解できるか	・授業観察 ・プリント
前期	コミュニケーション	■電子メールを利用する際の注意点について学ぶ ■Web ページの閲覧の仕組みについて学ぶ	○ ○	○	 ○	○ ○	a:検索の適切なキーワードを考え、検索結果の有効利用を考えているか b:キーワードの使い分けを理解し、まとめられるか c:Web ページの閲覧でブラウザ、URL、リンクについて実習しているか d:情報の絞り込み、大きな概念、小さな概念のキーワードを理解できるか	・授業観察 ・ワークシート ・課題作品
後期	情報安全	■パスワード、ウィルスについて学ぶ ■暗号化やフィルタリングなどの技術を学ぶ ■著作権について学ぶ	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:ウィルス対策やパスワードの重要性について関心を持っているか b:著作権などの侵害事例について、どの権利を侵害しているかを適切に判断できるか c:適切なパスワードを設定できるか d:適切なパスワードが重要であるかを理解できるか	・授業観察 ・プリント ・実習作品 ・課題作品 ・発表 ・相互評価 ・自己評価

後期	問題解決	■問題解決の方法と手順を理解する ■表計算ソフトの技術を学ぶ ■プレゼンテーションソフトの技術を学ぶ	○	○	 ○ ○	○ ○ ○	a:グループ討論では、興味を持って話し合いに参加し、積極的に発言しているか b:問題解決の手順、問題の内容を理解し、明確化しているか c:問題解決にあたって、適切な情報手段や、表計算ソフトなどを適切に扱うことができるか d:問題解決の手順と解決するための工夫を理解し、表計算ソフトの扱い方を理解できるか	・授業観察 ・プリント ・課題作品 ・発表 ・相互評価 ・自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。